

配布資料

※不足している場合はお声がけください。

- ①日野市保育の質ガイドライン策定委員会第1回
専門部会ワーキンググループ（パワーポイント資料）
- ②保育の質ガイドライン「保育手帳」（仮）の策定（パワーポイント資料）
- ③事例集（案）（A5冊子）
- ④グループ編成表（A4両面ホチキス留め）
※個人情報が含まれておりますので、取り扱いにはご注意ください。
- ⑤専門部会（ワーキンググループ）アンケート

日野市保育の質ガイドライン 策定委員会 第1回専門部会 ワーキンググループ

令和6年5月28日（火）
14時～16時
子ども包括支援センターみらいく
3階多目的室
日野市子ども部保育課

本日の流れ

1. 開会の挨拶
2. 趣旨説明
3. ワーキング説明
4. 自己紹介
5. 事例検討
6. 連絡事項
7. アンケート回答
8. 閉会の挨拶

趣旨説明

経緯

- 待機児童数が減少傾向にある中、「保育の量」の両輪として「**保育の質**」も求められています。
- 令和4年度、全国的に**不適切保育**が報道されました。
- 日野市においても、「**保育の質**」についての市民の関心が高まっています。

NHKニュースHP ▶



経緯



- 子どもにとってより良い保育環境を実現していくためには、法律や基準のほか、**保育所保育指針**が定められており、これらを適切に理解し、運用していくことが必要。
- 日野市の保育において大切にしたい考え方、目指すべき保育の具体的な内容、日々の保育の中で大切なポイントなどを整理し、市内の保育士同士で共通理解を築いていくことが必要。
- 子ども・保護者・保育士等にとって安心できる保育環境のためにも、**保育の質の維持・向上につながるガイドライン**を市内保育施設の皆様と一緒に策定していきたい。



ガイドラインの位置づけ

- 児童の権利に関する条約
- 児童憲章
- 子ども基本法
- 児童福祉法
- 子ども・子育て支援法

など

- 日野市子ども条例
 - 日野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- など

保育所保育指針

「新！ひのっ子すくすくプラン」

日野市保育の質ガイドライン

各園での保育計画・保育目標
マニュアル等

各園での保育実践



策定の方法



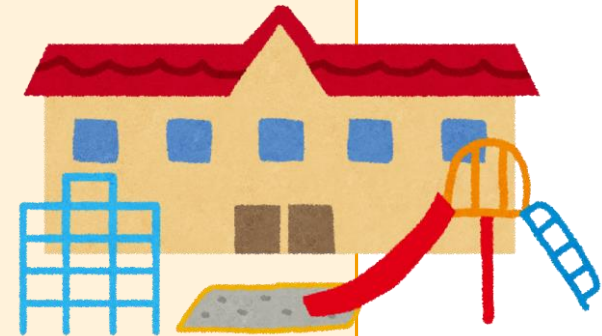
■「日野市保育の質ガイドライン策定委員会」

◆所掌事項

- ①日野市の保育の質の維持及び向上に関する調査検討
- ②日野市保育の質ガイドラインの素案の作成。
- ③策定後のガイドラインの運用方法に関すること
- ④そのほか、ガイドラインの作成及び運用に必要な事項に関すること。

◆メンバー

- ・実践女子大学 井口眞美教授
- ・日野保育園 野原久代 園長
- ・栄光平山台保育園 根津正孝 園長
- ・日野市立たかはた台保育園 佐藤道枝 園長
- ・日野市立もぐさ台保育園 上原直実 園長
- ・日野市子ども部保育課 木暮博 課長



策定のスケジュール

■策定のスケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R 5 年度							委員会開催（5回）					
									事例集作成依頼			
R 6 年度		委員会開催（月1回 程度）										内容 完成
		専門部会（WG）による意見交換・編成作業										
R 7 年度	印刷 製本	説明会	運用状況の確認等								運用 状況 報告会	

以降も継続的に、ガイドラインの運用状況の
確認・見直しを行っていく

完成のイメージ（案）

- 持ち運びしやすいA5サイズの冊子
- 見やすいカラー印刷
- 文字ばかりではなく、写真や絵なども使う、など



▲世田谷区保育の質ガイドライン（保護者向け）



▲ひのっ子の子育て子育て 知っ得ハンドブック2023

完成のイメージ（案）

■日々の保育の中で大切なポイントなどをチェックリストなどで掲載

*子どもの視点から

- ☐ わたしは、一人の人間として大切にされます。
- ☐ わたしは、安心して自分の思いを伝えることができます。その思いは、大切に受け止められます。
- ☐ わたしは、身体も心も守られます。
- ☐ わたし達には一人一人、願いのこもった名前があります。呼び捨てにはされません。
- ☐ わたし達は、一人一人の違いが認められ、自分らしく育つことができます。
- ☐ わたしは、安全で落ち着いた環境の中で、友だちと伸び伸びと遊ぶことができます。
- ☐ わたしは、生活や遊びを通して、いろいろな体験や経験を重ね、未来に向かって生きる力を身に付けていきます。



◀ 西東京市保育の質
ガイドライン

完成のイメージ（案）

■日々の保育で参考になる具体例、事例などについて紹介

～活動を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の育ちをみる～

活動：戸外で大型積み木やタイヤ等を組み合わせて、ボール転がしをする。

ねらい：友だちと一緒にボール転がしゲームをする中で、自分の力を発揮して遊ぶ充実感を味わう。

対象年齢：5歳児後半

① 健康な心と体

【子どもの姿】 大型積み木やマット、タイヤ等を運んで組み立てる。

【会話等】 「もっともっと運ばなくちゃ」
「重いね」
「一緒に持とうよ」
「しっかり持たないと落ちちゃうよ」



【育ちの姿】 倉庫から、たくさん運んできて、しっかりと身体を動かし、遊びの場を作っていく。遊ぶ意欲が「重いけど頑張って運ぼう」という力になっている。

② 自立心

【子どもの姿】 自分で考えたり試したりしながら、失敗しても諦めずに挑戦する。

【会話等】 「ここにタイヤを乗せるね」
「ボールが落ちないように押さえるね」
「できたね」
「うまくいったね」



【育ちの姿】 友だちと一緒に遊ぶ中で、自分がしなくてはならないことを自覚して、やり遂げることで達成感を味わい、自信につながる。

完成のイメージ（案）

◀ 中野区保育の質 ガイドライン

中野区立 ひがしなかの幼稚園
5歳児クラス

区立幼稚園

1. 実践の背景 (P)

① 中野区 保育の質ガイドラインの中で着目した項目や内容
P13 (5) 保育の内容 人を信頼し、安心して、自らやってみようとする意欲や興味・関心、好奇心・探究心等の心情、考える力や認識が培われ、自己肯定感をもっている。

② ①を受け、保育の中で大切にしたいと思ったこと、改善すべきと感じたこと。
・遊びの中で様々な気付きや発見をしながら試行錯誤を繰り返し、思考を深めていくこと。
・友達とのやりとりの中で、思いや考えを言葉でやりとりしながら、主体的・対話的で深い学びが保障されること。
・自分なりの見方・考え方で、事象に関連づけて考え、喜びを感じることを。

2. 実践のねらい (P)

・好きな遊び（ロケット飛ばし）をする中で、友達と考えや気付きをやりとりしながら、自分のめあてに向けて試行錯誤し、やり遂げる満足感や充実感を味わう。

3. 実践事例 (D)

実 践 内 容	保育者の具体的な配慮及び心がけたこと
学級全体で見たプラネタリウムをきっかけに、トイレットペーパー芯でロケットを作り遊んでいた。「本物みたいに発射させたい」というA児の言葉に、教師とB児と三角の積み木を使って輪ゴムの力で飛ばす発射台を作った。 何度も繰り返し飛ばして遊ぶA児とB児の様子を見ながら教師も仲間に加わり、「もっと速くに飛ばすにはどうしたらいいのかな」と教師が言葉にすると、A児とB児は「いっぱい引っ張るといいんだよ」と言いながら、力いっぱい引っ張るとゴムが切れてしまった。修理のために材料置き場にゴムを取りに行ったA児は「こんなのあった!」と、太い輪ゴムを持ってきた。B児は「それ、強そう」と賛成した。そして、B児は「(ゴムを強く引っ張れるように)ここを長くしたら?」と、ラップ芯を持ってきて、さらに長くして試すと今までより速くに飛び、2人で歓声を挙げた。 隣の発射台でロケットを飛ばしながらそのやりとりを聞いていたC児が「こっちも長くしたい」と言い、ラップ芯を付けて長くした。「ゴムも太くする?」と教師が聞くとC児は「それはいい」と断り、細いゴムのままにした。2台の発射台を並べてロケットを飛ばしていたので教師が「こちらは太いゴムでこちらは細いゴムなんだ	・速くに飛ばしたい思いから繰り返しやっている幼児が多い。同じ場にいる幼児とめあてを共有し考えや気付きをやりとりしながら取り組めるように、教師が言葉にしていこう。 ・より速くに飛ばすというめあてに向けていろいろな素材を工夫して試せるように幼児がすぐ気付く場所に素材を出しておこう。  ・A児はゴムが太いと強い力になると考えている。B児はより引っ張れるように芯の部分長くしようとしている。それぞれの発案に刺激を受けて自分なりの考えを伝えようとしている。それぞれ自分の考えたことを試せるように見守ろう。

ね。輪ゴムの太さが違うと飛ばす距離も違うのかな」と見ていると、A児が「じゃあ落ちたところにポケットティッシュを置いて目印にしよう」と言い、飛距離を比べ始めた。太いゴムの方が速くに飛び、A児は「こっちの方が飛ばす」と喜んだ。

しばらくして、新たにD児が「発射台をもっと立てたら速くに飛ばすかも」と言い、三角の積み木の角度を上げて試してみた。D児は「天井まで届く!」と喜んだが、「でも速くには飛ばなくなった」と言い、積み木を元の角度に戻した。そして、最後にD児は「太い輪ゴムで、芯が長くて、この向き(角度)が最強。」とつぶやいた。

・2台の発射台を比較できるように、違いを言葉にして気付かせよう。
・着地点が分かるように、ポケットティッシュという身近な物を活用している。比較するためにどうしたらよいが自分なりに考えた工夫を認めつつ、見守ろう。
・友達の様子を見て、自分なりに情報を取り入れつつ、新たな考えも出てきた。F児の考えを教師も一緒に確かめよう。

4. 考察 (C)

・2台の発射台を並べておくことで、友達の様子に注目しやすく、芯の長さ、ゴムの太さ、発射角度などを比較し、試してみる中でいろいろなことに気付いていた。友達と互いに考えたことや気付いたことなどを伝え合い、さらに考えを深めていくことができるような環境が大切である。

・教師が繰り返し飛ばして遊ぶ幼児の姿から「より速くに飛ばしたい」という思いを捉え、「もっと速くに飛ばすにはどうしたらいいかな?」と言葉にしていこうと友達とめあてが共通になった。そして、友達の様子を意識するようになり、自分なりの考えを友達に伝えたり、友達の考えを取り入れたりする姿が見られ、一緒に楽しむことにつながった。

・幼児なりの考えが試せるように、製作コーナーに様々な素材を用意したり、必要に応じて提示したりした。自分が予測したことをやってみる試行錯誤が十分にできた。幼児が考えて試す姿を見守ったり、要求してくるまで待ちたりしたこと、自分たちなりにじっくりと試す面白さを感じることができた。

5. まとめ及び今後の課題 (A)

5歳児になると、互いに言葉でやりとりしながら遊びを進めていくことを楽しむようになる。そのため教師は、学級全体で体験したことを生かした遊びとなるよう働きかけ、思考力を働かせながら、共通の遊びに向かっていけるような環境や教材を意図的に設定している。この遊びを通して、幼児は今までの経験を生かして予測したり、友達の考えから新たな考えを生み出し工夫したりして遊ぶ面白さを味わうことができた。このように、友達と共通のめあてに向けて試行錯誤する楽しさや、互いの考えを伝え合いながら遊びを進めていく充実感を味わうことが深い学びとなり、小学校以降の友達と協力して生活したり学び合ったりする姿につながっていくと考える。

【5領域】(1歳～5歳)

健康 人間関係 環境 言葉 表現

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】(10の姿)

健康な心と体 / 自立心 / 協同性 / 道徳性・規範意識の芽生え / 社会生活との関わり

思考力の芽生え / 自然との関わり生命尊重 / 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い / 豊かな感性と表現

完成のイメージ（案）

- 日々の保育で参考になる知識について、コラムなどについて紹介



One Point ②④

『保護者が子どもの発達に悩みや不安がある時』

平成29年度より、0歳児からの発達相談窓口が「障がい福祉センターあしすと」から「こども支援センターげんき」に移管されました。

保護者の障がいへの理解や受容の有無に関わらず相談ができます。悩みや不安を抱えている保護者に周知しましょう。

こども支援センターげんき 支援管理課発達支援係

住所：足立区梅島三丁目28番8号 電話：03-5681-0134

▲足立区保育の質ガイドライン

主要内容（案）

保育内容

- ・日野市の保育が目指すもの・大切にしたいこと
- ・保育の質向上のため、それぞれの役割・取組み

チェック リスト

- ・日野市が目指す保育上の具体的なポイント（ヒント）
- ・子どもの視点での記述など

事例集

- ・各園での良い取組みの事例・エピソード集
- ・日野市で大切にしたい保育の項目別に整理して掲載

保育内容（案）

※あくまで（案）です。

はじめに	● ガイドライン策定の趣旨・経緯	
第1部 総論	第1章 日野市の保育	● 日野市の子どもたちの状況、取り巻く環境 ● 日野市の保育園の状況
	第2章 日野市保育の質 ガイドラインについて	● ガイドラインの位置づけ ● ガイドラインの構成と活用方法
	第3章 日野市の保育が 目指すもの・大切に したいこと	● 子どもの権利を保障した保育 ・ 子どもの権利を保障した保育 ～すべての子どもを一人の人として大切にする～ ・ 虐待の防止と早期発見 ・ 不適切保育の未然防止 ● 保育環境 ・ 人的環境、物的環境、自然や社会現象、 ・ 長時間保育における環境

保育内容（案）

※あくまで（案）です。

第2部 実践編	第1章 保育内容	● 0歳児保育 ● 1歳～3歳未満児の保育 ● 3歳児以上保育 ● 特別な配慮を要する子どもの保育 ● その他
	第2章 食育の推進	● 食育計画、保育園の食事 ● 特別な配慮を要する子どもへの対応
	第3章 子どもの健康支援	● 子どもの健康状態及び発達状態の把握 ● 健康の増進 ● 疾病などへの対応
	第4章 安全対策	● 保育編、災害編、防災編、個人情報管理編
	第5章 保護者支援	
	第6章 諸機関との連携	● 地域支援・連携 ● 小学校への接続 ● 市内関連施設との連携

保育内容（案） ※あくまで（案）です。

第3部 保育士の質の向上
のため求められること

第1章 保育園の社会的責任

第2章 職員に求められる資質

第3章 保育の質の維持・向上のための取組み



チェックリスト（案）

※あくまで（案）です。

■「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」 （令和5年5月こども家庭庁）

「重要なのは、日々の保育実践において、より良い保育に向けた振り返りが実施され、改善につながる一連の「流れ」ができていることである。そうした普段の取組が、虐待等と疑われる事案（不適切な保育）があった際にも、行政を含めた施設内外に風通しよく共有され、適切な対応につながると考えられる。」

■日々の振り返りに使うチェックリスト(案)

(4) 保育内容

子ども達の未来のために、保育を計画・実践し、振り返ります。

- | |
|---|
| ☐ 職員は、「子どもの最善の利益」を考慮し、全体的な計画の保育施設が目指している児童福祉の理念及び組織が目指す中長期的な目標を理解している。 |
| ☐ 職員は、全体的な計画を通して、展開したい子どもの育ちの道筋、子ども像を共有している。 |
| ☐ 子どもの発達や地域の特性を捉えて、職員全体で年齢別の指導計画（年・期・月週・日）を立て、計画に基づいた保育を実践し、定期的な評価・反省を行い、次の計画に反映させている。 |



事例集作成の趣旨

- 保育現場は一日として同じ状況はなく、刻一刻と変化している。
- 質の高い保育のためには、状況に応じた柔軟な取り組みが求められるとともに、職員同士、保護者、地域住民など多様な関係者と対話し、連携し合うことが必要になる。
- 保育の質は一義的に定まらないことを踏まえると、保育現場での身近な課題に対する“等身大”の取り組みをより多く集めることで、皆様の保育実践がより豊かなものになるのではと考えられる。



テーマごとに各園から好事例を出していただくことで、日野市ならではの好事例約90が集まっている。

事例集 ワーキンググループ

■役割と効果

- ・精査：各園から提出される約90の事例のブラッシュアップ。
- ・考察：事例についてグループ内で意見交換を行い、各項目の大切なポイント等の整理。
- ・研修：検討の過程が皆様の学びとなり、保育実践がより豊かになることを願っております。

■ワーキング概要

顔合わせ【知り合う】

ブラッシュアップ

【理解する】

- ・より伝わりやすい表現等への修正
- ・表現の統一など

事例の検討【深める】

- ・大切なポイント、キーワードの抽出
- ・私の園はこうしているなどの意見交換

事例集 ワーキンググループ

3月～4月	事務局	■事例集の内容をある程度整える。 ・書式の統一、です、ますの統一など。 ・少し趣旨から逸れている事例、文字が多すぎてしまった事例、テンプレートに当てはめて欲しい事例など、再提出を依頼
5月～10月	ワーキンググループ	■ブラッシュアップ 【理解する】 【深める】 ・より伝わりやすい表現等への修正、表現の統一など ・大切なポイント、キーワードの抽出、私の園はこうしているなどの意見交換
	事務局	■ワーキングでブラッシュアップしたものは、事務局で取りまとめ、随時、事務局から園に修正を依頼する。

【その他】

- ・編集作業については、調整中。
- ・イラストは統一感を持たせるため、編集作業で修正の可能性あり。
- ・写真など保護者の同意が必要なものは、必ず採るよう再確認する予定。

グループ内顔合わせ

■ 自己紹介

- ・ 所属、名前、担当

■ エピソード

- ・ 最近保育で幸せだなと感じた瞬間

■ 進行、書記の選出

ワークの手順

①事例の読み込み

担当事例

1グループ	産休明け (おおくぼ保育園) (P.1)	5グループ	配慮が必要な子ども (豊田保育園) (P.13)
2グループ	0歳児 (万願寺保育園) (P.4)	6グループ	食育 (栄光多摩平の森保育園) (P.50)
3グループ	小学校への接続 (つくしんぼ保育園) (P.20)	7グループ	健康 (たかはた北保育園) (P.54)
4グループ	人的環境 (栄光保育園) (P.30)	8グループ	園の運営に関して (おおくぼ保育園) (P.77)

②意見等を付箋への書き込み

良い点

子どもの○○の
育ちに
繋がっている点

自分の園では
こうしている

自分なら
こうしてみたい点

ここを修正すると
分かりやすい点

③意見の共有・まとめ

- グループ内で意見の共有
- 書記役の方を中心にグループ内で出た意見をコメントシートへまとめる

グループNo.

【コメントシート】	
(項目)	(タイトル)
_____ 編	_____

[illegible]

④自分の園ではこうしている、自分ならこうしてみたい点（黄色付箋）

⑤ここを修正すると分かりやすい点（水色付箋）

④【事務局記載欄】※以下はワーキンググループで記載不要

ワークの手順（その1）

■ 事例の読み込み



■ 意見を付箋への書き込み（ピンク）



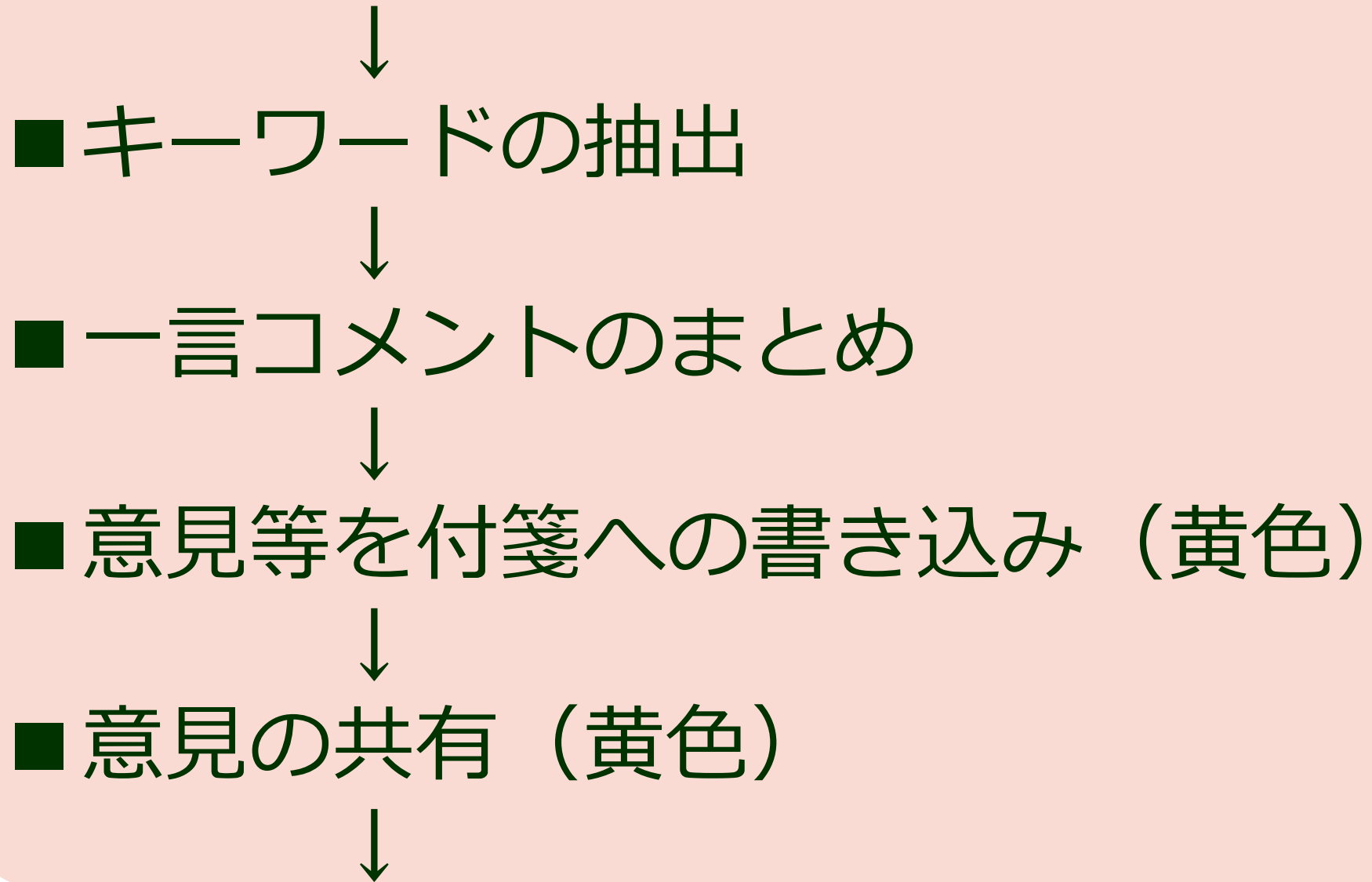
■ 意見の共有（ピンク）



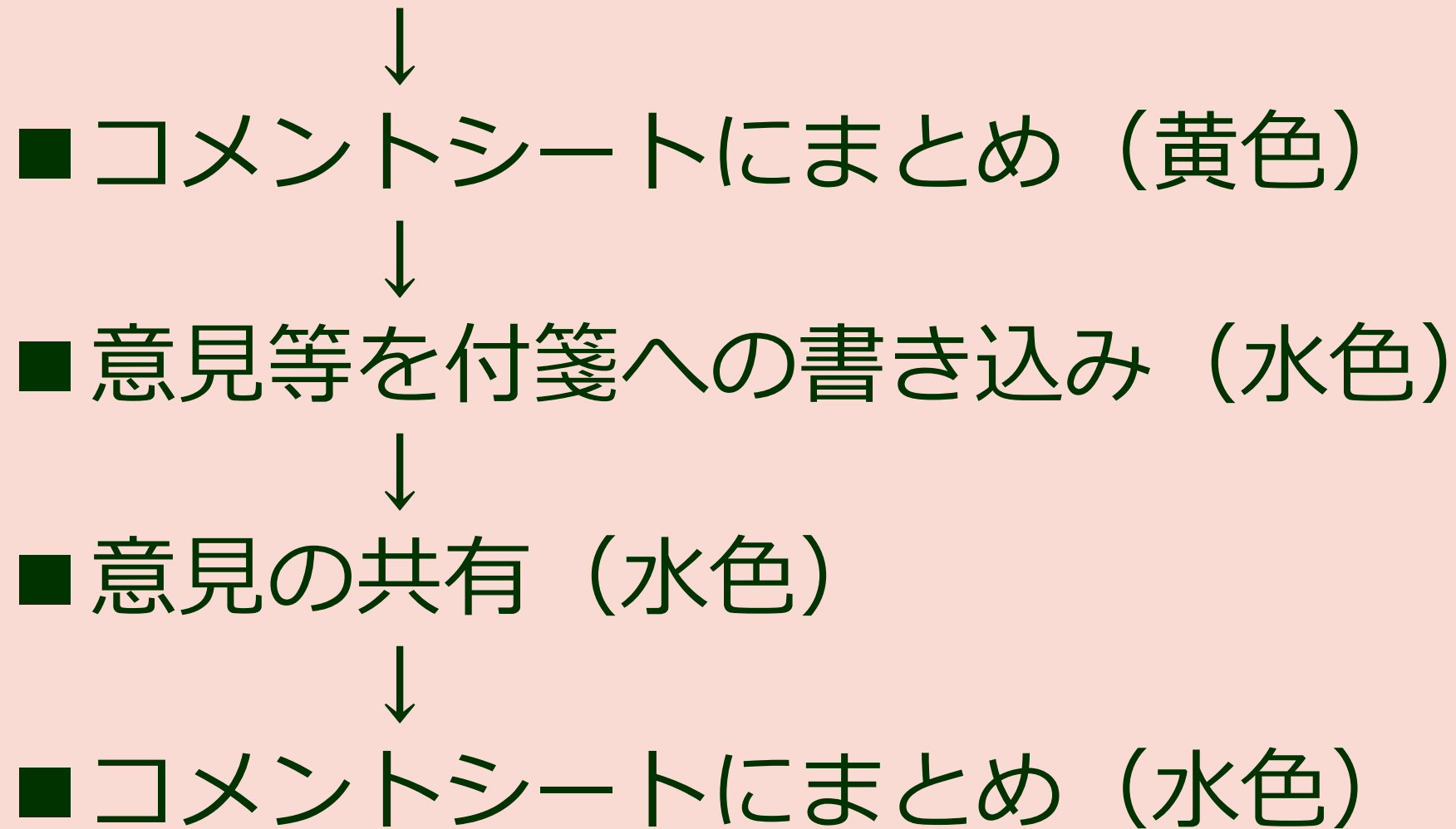
■ コメントシートにまとめ（ピンク）



ワークの手順（その2）



ワークの手順（その3）



ワーク開始

事例集 ワーキンググループ日程

会議	日程	時間	場所	内容(予定)
第1回W.G	R6.5.28(火)	14時～16時	みらいく多目的室	顔合わせ、概要説明、【1周目】1事例
第2回W.G	R6.6.18(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】2事例
第3回W.G	R6.7.23(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】2事例
第4回W.G	R6.9.17(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】2事例
第5回W.G	R6.10.22(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】2事例
第6回W.G	R6.11.19(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】2事例
第7回W.G	R6.12.17(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【1周目】1事例 or 【2周目】複数事例
第8回W.G	R7.1.28(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【2周目】複数事例
第9回W.G	R7.2.25(火)	14時～16時	みらいく多目的室	予備
第10回W.G	R7.3.11(火)	14時～16時	みらいく多目的室	予備

アンケートのお願い

ワーキンググループ運営をより良く行っていくため、お手元のアンケートへの記入についてご協力をお願いいたします。

ご参加いただきありがとうございました。

日野市保育の質ガイドライン
策定委員会
第1回専門部会
ワーキンググループ

令和6年5月21日（火）
14時～16時
子ども包括支援センターみらいく
3階多目的室
日野市子ども部保育課